

野球コース

3つのポリシー

卒業認定の方針(ディプロマ・ポリシー)

野球コースでは、野球というチーム活動を通して、変化が激しく複雑な現代社会においても、困難な状況に直面しながら学び続け、自ら考え行動し、組織の一員として与えられた役割を、責任をもって果たすことができる人材の育成を目指す。そのため、以下の資質・能力を修得した者に卒業を認める。

【知識・技能】

競技実践を支える専門的知識（競技理論、トレーニング科学、スポーツ外傷に対する応急処置、スポーツ障害の予防、チーム管理・運営等）を体系的に理解し、状況に応じて適切に活用することができる。

【思考力・判断力・表現力】

競技実践の中で課題を発見・分析し、解決策を立案・実行し、成果を振り返ることができる。また、その過程および結果を他者に分かりやすく伝えることができる。

【主体性・多様性・協働性】

野球というチーム活動を通して培った協働性を基盤に、多様な他者と連携しながら、困難な状況においても主体的に行動し、チーム内での役割を果たすとともに、組織の一員として責任をもって行動することができる。

【倫理観・社会的責任】

職業人としての倫理観と法令遵守意識を備え、社会規範に基づき責任ある行動をとることができる。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

野球コースでは、卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる資質・能力を身につけるため、野球というチーム活動を教育の基盤に据え、講義・演習・実習・インターンシップを通して、専門的知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、倫理観・社会的責任を段階的に育成する教育課程を編成する。

1. 野球実技およびチーム活動を通して、技術向上に加え、協働性、主体性、課題発見・解決力を育成する。あわせて、困難な状況においても自ら考え行動し、チーム内での役割を果たす力を養う。
2. 競技実践を支える専門的知識（競技理論、トレーニング科学、スポーツ外傷・障害の予防および応急処置、チーム管理・運営等）を体系的に学ぶ。さらに、国際公式記録員やアンパイア等の実習、ならびに大会運営実習を通して、競技を支える仕組みを理解し、社会で通用する実践力を高める。
3. 2年次より、野球専攻、競技×医療、競技×スポーツトレーナー、英語×スポーツ等、学生の進路目標に応じた科目を設置し、専門性を段階的に深化させる。
4. 野球に限らず、一般企業等におけるインターンシップを通して、社会における規範、責任、役割遂行

の在り方を学ぶ。あわせて、卒業後の進路を見据えた目標設定および自己管理能力の向上を図る。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

履正社スポーツ専門学校北大阪校は、「履正不畏・勤労愛好・報本反始」を建学の精神とする。野球コースでは、野球というチーム活動を通して、困難な状況においても学び続け、自ら考え行動し、組織の一員として責任をもって役割を果たすことができる人材の育成を目指している。そのため、本校の教育内容に高い関心と理解を持ち、挑戦を恐れず努力を継続し、周囲への感謝と敬意を忘れずに学修および課外活動に主体的に取り組む意志を有する者を受け入れる。

1. 野球という競技を愛し、チームの一員として自己の役割を果たすことに意欲を有する者。
2. 野球に関する基礎的な体力および技能を有し、向上を目指して継続的に努力できる者。
3. 野球に関する基礎的知識を有し、多角的に物事を思考・判断しようとする姿勢を有する者。
4. 困難な状況においても挑戦を恐れず、主体的に学び続けようとする意志を有する者。
5. 社会性、対人関係能力およびコミュニケーション能力を有し、他者への敬意と感謝をもって協働する姿勢を有する者。